

2017年11月8日
株式会社資生堂

資生堂がアメリカ地域本社を通じて米国ベンチャー企業 Giaran Inc.を買収

—AIを応用したパーソナライゼーション技術を取得—

2017年11月7日（日本時間11月8日）、株式会社資生堂はアメリカ地域本社であり連結子会社である Shiseido Americas Corporation（所在地：米国、デラウェア州、以下「SAC」）を通じて米国のベンチャー企業 Giaran, Inc.（ギアラン、所在地：米国、マサチューセッツ州、以下「Giaran」）を買収しました。今後、Giaran の持つ人工知能（AI）プラットフォームの先進技術をはじめとする優れたデジタル技術により、ビューティー分野におけるパーソナライゼーションをさらに進め、新しい消費者体験を生み出していきます。

Giaran 概要

米国のノースイースタン大学の Synergetic Media Learning Laboratory (SMILE Lab) から独立した研究所を前身として、2016年に世界的に著名な AI 専門家である科学者レイモンド・フー(Dr. Raymond Fu)によって創設された Giaran は、コンピュータビジョン、ビッグデータ、拡張現実(AR)などの AI 技術を駆使して、ディープラーニング、データマイニング、予測モデリングの新しいアルゴリズムを開発しています。Giaran は、バーチャルにメイクアップをしたり素颜に戻したりする技術に加え、メイクアップのアドバイス、カラーマッチング、パーソナルコンサルティング、顔の測定、肌色判定などの技術を保有しています。こうした技術は、モバイル、タブレット、デスクトップ PC で利用できるほか、高画質拡張現実(AR)システムを使ったスマートミラーにも使われています。

買収後の展開

Giaran はマサチューセッツ州ボストンに拠点を置いたままメイクアップのセンター・オブ・エクセレンス(本拠ニューヨーク)に所属し、デジタルのセンター・オブ・エクセレンス(本拠ニューヨーク)ならびに当社本社の技術チームと密に連携し、保有する技術をさらに強化していきます。また MATCHCo ならびに、資生堂グループの米州での研究開発拠点とも互いに協業していきます。Giaran の持つシミュレーション技術を資生堂のポートフォリオ全般に活用し、資生堂のビューティーパーソナライゼーション機能をさらに拡大することにより、他にないビューティー体験を提供し、お客さまとの結びつきをさらに強めていきます。

資生堂グループ CEO 魚谷雅彦のコメント

「1872年の創業以来、資生堂はビューティーの世界で最前線を走ってきました。Giaran の先進 AI 技術と資生堂が持つ世界規模のイノベーションネットワークを通じて、お客さまと商品との出会いを変え、資生堂のブランドとお客さまとの間に深くパーソナルなつながりを生み出し、お客さまを基点とした成長への道を構築していきます。」

SAC CEO マークレイのコメント

「レイモンドと Giaran のチームは化粧品業界に応用できるまったく新しい AI 技術の数々を生み出してきました。そんな彼らを資生堂ファミリーに迎えらることに心躍る気持ちです。今年初めの MATCHCo 社買収に加え、即戦力となる専門知識と高度な技術が Giaran から提供されることで、資生堂はデジタル対応力をさらに拡大すると同時に、パーソナライゼーションと充実したユーザー体験をお届けすることによって、お客さまとの絆をさらに深めていきます。デジタルはツールではなくマインドセットである、という Giaran の考えに共感しており、ともに美容業界のビジネスモデルを一新するような、常識を打ち破るイノベーションを起こすことを期待しています。」

Giaran 社長 レイモンド フーのコメント

「今回は Giaran にとって、ビューティーの世界での大きな転換期となるきわめてエキサイティングなできごとです。急速な変化を続ける現代のマーケットにおいて、絶えず商品の進化を図り、消費者中心のイノベーションを行うことこそ、お客さまとの関係を深め、新たなファン層を開拓する鍵であると信じる点で、私たちと資生堂の考えは一致しています。ノースイースタン大学で優れた成果を挙げた研究所から誕生した Giaran は、サイエンスとイノベーションに対する資生堂の長年にわたるコミットメントを高く評価しています。情熱と才能に溢れたクリエイティブな人々の集う資生堂の一員となって、その技術革新とビューティーの未来づくりに参加できることをたいへん嬉しく思っています。」

以上